

社会資本総合整備計画書

(八幡平市)

(防災・安全)

令和2年6月1日

社会資本総合整備計画

令和2年6月1日

計画の名称	7 快適な住環境のまちづくりに向けた社会基盤づくり (防災・安全)				重点計画の該当							
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)				交付対象	八幡平市						
計画の目標	1 道路交通基盤の充実による地域内の連携強化を進めるとともに観光ルートの充実やネットワークの強化など、地域の活力源となる道路網の整備を推進する。 2 道路改築に合せ、学校指定となっている路線について、歩行者及び児童・生徒の安全を確保するため歩道の整備を推進する。											
計画の成果目標 (定量的指標)	・産業、観光、地域間連携等を支える道路のアクセス時間短縮の向上 ・学校指定通学路等の歩道整備率											
定量的指標の定義及び算定式	整備による時間短縮効果であり、整備前及び整備後の現地走行調査により、以下の式で算出する。 $100 - (\Sigma \text{整備後走行時間} / \Sigma \text{現況走行時間}) \times 100 (\%)$ 学校指定通学路等における歩道の整備率であり、以下の式で算出する。 $\text{当該計画歩道整備済延長} / \text{当該計画歩道整備予定延長} \times 100 (\%)$											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,266百万円	A	4,865百万円	B	155百万円	C	246百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	4.7%

交付対象事業

A1 基礎事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用対効果	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
7-A-1	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(一) 焼走り線・平笠工区	改良舗装 L=132m	八幡平市						42	-	-	
7-A-2	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(1) 北切線	改良舗装 L=130m	八幡平市						28	-	-	
7-A-3	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(1) 山子沢線	歩道設置 L=230m	八幡平市						130	-	-	
7-A-4	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(1) 中田野駄森線	改良舗装 L=1,480m	八幡平市						353	-	-	
7-A-5	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(他) 大更中央線	改良舗装 L=500m	八幡平市						232	-	-	
7-A-6	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(一) 焼走り線・田頭工区	改良舗装 L=400m	八幡平市						50	-	-	
7-A-7	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(2) 中台線	改良舗装 L=430m	八幡平市						57	-	-	
7-A-8	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(他) 鴨志田線ほか7路線	現道拡幅 L=3,700m	八幡平市						925	-	-	
7-A-12	S街路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(1) 大更駅前線	道路新設 L=370m	八幡平市						1,190	-	-	
7-A-13	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(2) 夏間木線ほか9路線	現道拡幅 L=740m	八幡平市						296	-	-	
7-A-14	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	大更駅自由通路	自由通路 L=30m	八幡平市						748	-	-	
7-A-15	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	大更駅西口駅前広場整備事業	駅前広場 A=5,000㎡	八幡平市						724	-	-	
7-A-16	道路	一般	八幡平市	直接	八幡平市	(他) 市道雑子線外整備事業	舗装補修 L=2,000m	八幡平市						90	-	-	
合計												4,865					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
7-B-1	公園	一般	八幡平市	直接	八幡平市	公園整備	公園整備 A=880㎡	八幡平市						155		
合計												155				

番号 7-B-1 一体的に実施することにより期待される効果 (1) 大更駅前線及び(2) 夏間木線ほか9路線の整備と併せて実施することにより、沿道環境が向上し、歩行者及び地域住民が安らぎを感じるまちづくりが期待される。

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31			
7-C-2	区画	一般	八幡平市	直接	八幡平市	大更駅前線沿道整備土地区画整理事業	区画整理 A=3.8ha	八幡平市						217	-	
7-C-1	施設整備	一般	八幡平市	直接	八幡平市	大更駅西口駅前広場整備事業	駅前広場 A=5,000㎡	八幡平市						29		
合計												246				

番号 7-C-1 一体的に実施することにより期待される効果 (1) 大更駅前線及び(2) 夏間木線ほか9路線の整備と併せて実施することにより、沿道の土地の整形化と不規則交差点の解消及び沿道の土地利用増進が期待される。
 7-C-1 道路整備と併せて交通結節点において、駅前広場を整備することにより、道路の安全で円滑な通行を確保するとともに、交通機関間の連携を強化し、観光客や市民の利便性の向上を図る。

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

その他関連する事業

計画等の名称 7 快適な住環境のまちづくりに向けた社会基盤づくり												
事業種別	交付対象	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
					H27	H28	H29	H30	H31			
7-A'-10	道路	八幡平市	(1) 山子沢線ほか98路線	八幡平市						126		
7-A'-11	道路	八幡平市	(主) 柏台松尾線ほか5路線	八幡平市						60		
7-C'-1	施設整備	八幡平市	大更駅西口駅前広場整備事業	八幡平市						433		

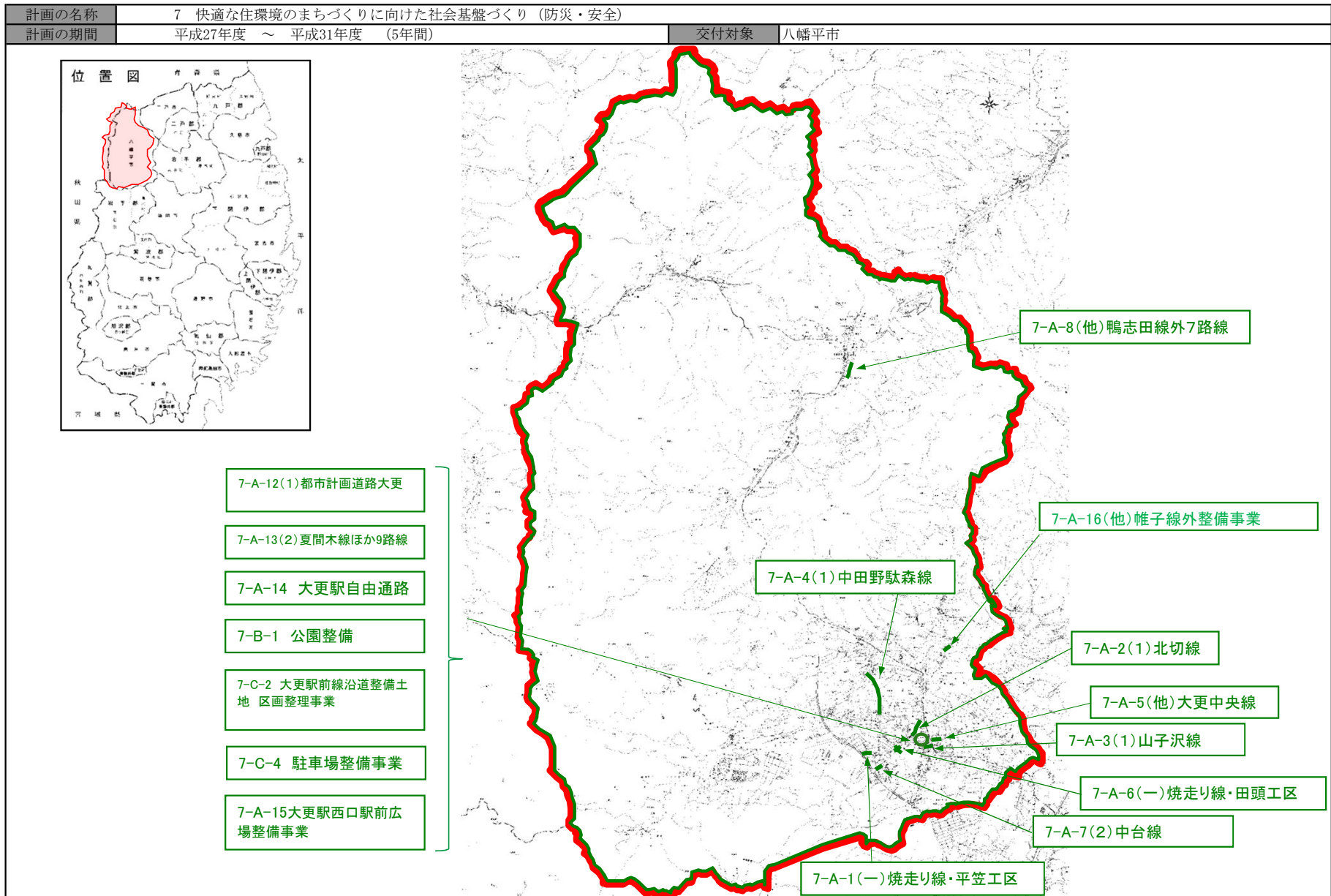
A'	186	百万円	B'	0	百万円	C'	433	百万円	(C'+C)/(A+A'+(B+B')+(C+C'))	11.5%
----	-----	-----	----	---	-----	----	-----	-----	-----------------------------	-------

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	290.103	793.696	207.707	122.418	71.748
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	290.103	793.696	207.707	122.418	71.748
前年度からの繰越額 (d)	8.790	76.854	565.521	84.271	63.203
支払済額 (e)	222.039	304.845	688.957	143.486	119.081
翌年度繰越額 (f)	76.854	565.521	84.271	63.203	15.870
うち未契約繰越額 (g)	0	56.877	42.812	9.272	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0.184	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	6.6%	5.5%	4.5%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	—	—	—	—	—

(参考図面) 社会資本総合整備計画



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 7 快適な住環境のまちづくりに向けた社会基盤づくり(防災・安全)

市町村名: 八幡平市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1)市の総合計画(八幡平市総合計画)と整合性が確保されている。	○
②計画区域の課題への対応	
1)計画区域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2)計画区域の課題解決のための事業が選定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)関連事業は、基幹事業との一体性が見られる。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果を発揮できる内容となっている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)基幹事業の必要性が整理されている。	○
2)関連事業の目的が明確である。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)事業の内容に関し、地元に対する事前説明が行われている。	○